

## 第2回 持続可能な交通安全施設等の整備の在り方に関する懇話会 議事概要

### 1 開催日時

令和元年9月17日（火） 14:00～16:00

### 2 開催場所

兵庫県警察本部別館902会議室

### 3 構成員等

#### (1) 構成員

神戸大学名誉教授 小谷通泰（座長）

神戸大学大学院工学研究科市民工学専攻准教授 織田澤利守

兵庫県トラック協会参事 村尾芳和

兵庫県交通安全協会常務理事 中林好弘

兵庫県教育委員会事務局体育保健課主任指導主事兼主幹 岩木秀諭

兵庫県企画県民部ビジョン局ビジョン課長 木南晴太

兵庫県県土整備部土木局道路保全課長 山田弘（代理同課主幹 津田知宏）

神戸市都市局計画部公共交通課交通支援担当課長 畑田典子

#### (2) 事務局

兵庫県警察本部交通部交通規制課

### 4 議事進行

#### (1) 開会

※事務局より開会を宣言

#### (2) 第1回懇話会の議事概要について

※事務局より第1回懇話会の議事概要について説明を実施し、構成員から県警ホームページへの掲載について承認を得た。

#### (3) 議題

##### ア 事務局等説明

「信号機の役割と設置状況について」、「信号機設置の指針について」及び「信号機撤去に係る課題と解決策について」を事務局から説明

##### イ 各構成員からの主な意見

#### (ア) 信号機の役割と設置状況について

- ・信号機は、県下に広く分散して設置してあるイメージを持っていたが、多くの信号機が主要幹線道路に沿って設置されていることが分かった。

#### (イ) 信号機撤去に係る課題と解決策について

- ・信号機の位置情報や管理情報だけではなく、信号機設置の指針の、いずれの条件に合致して設置に至ったのか、現在も条件を満たしているのか等の情報をデータベース化し、条件を満たさなくなったものをモニタリングす

ることができる仕組みが必要ではないか。

- ・将来の人口減少の推計から、信号機の設置の指針に該当しないものが年々増加していくという将来シミュレーションをすることが必要ではないか。
- ・マクロに将来を見据えて、地域ごとの交通量と信号機の設置数にギャップが生じているという見通しをつけるような方法論が、兵庫県だけではなく全国的に必要なではないか。
- ・突然、自分が住んでいる地域の信号機が撤去されるという話があると反発が大きくなるので、ある一定の明確な基準に基づいて、将来的に信号機を減らしていく必要があるということを、県民に広く理解をして貰う必要がある。そのシナリオに沿った撤去なのだということが理解できれば、不公平感もなく、前向きに受け止めて頂ける機運が高まるのではないか。
- ・信号機の撤去候補を継続的に把握し、その候補の中から撤去する信号機については、代替案やエビデンスを示して地元調整を図るという二段階の考え方が必要である。後者の地元調整の際には、信号機だけに注視した説明をするのではなく、通学路の代替案の有無や面的なエリアの交通環境等のチェックリストを作成した上で、撤去に伴う代替案とそのエビデンスを示すなど、地元の理解が得られるような資料を作成することが必要ではないか。こうした手順をプログラム化できないか。
- ・主要幹線道路での渋滞や事故は影響が大きいので、主要幹線道路の信号機は必要性が高いという方針を持って撤去候補から外すことで、撤去検討の省力化を図ることができるのではないか。
- ・信号機設置位置図などに、信号機設置の指針に適合していないものを公表して、近所の信号機が数年後には撤去されることもあると周知し、県民と情報共有を図ることで、県民に当事者意識を持ってもらい、地元で時間をかけて安全対策について話し合ってもらおうということも大切ではないか。
- ・学校の統廃合、病院の移設などを機に地元調整を行うべきである。その為にも交通警察には直接関係ないと思われる地域の情報の収集についても、各警察署に具体例を示して指示をすることも必要ではないか。
- ・日本の道路は狭いため費用が高くなるが、細街路の出会い頭事故の抑制や、災害に強い点からも、信号交差点の代替安全対策として、ラウンドアバウトは有用である。
- ・マクロにみて、財政面、人口減少、通行量の減少などから、信号機の総数を減らす必要性に迫られているという総論を、しっかりと示す必要がある。
- ・全国的に同様の取り組みをしていることから、各地で信号機撤去後に、どのような交通環境の変化があったのか、警察庁で事例を収集し検証することが望まれる。これによって全国の警察でベストプラクティスを共有することができるようになり、過去の経験を生かすことが可能となる。

#### (4) 閉会

※事務局より閉会を宣言

以上